



カンタベリー補習授業校

学校だより

第12号

令和8(2026)年2月4日 発行

校長 蛤名 博人

4学期、そして2026年のスタートです。よろしくお願いします。



小学部6年生は1月23日(金)社会見学に行ってきました。午前中はクリストチャーチ警察署を訪問し、本校保護者で補習校卒業生の　さん、補習校で昨年クラスヘルプをしていただいていた　さんに分かりやすく施設内や仕事内容について説明していただきました。パトカーに乗せてもらったり、警護服を試着させてもらったりと、日常で体験できない学びとなりました。

午後からは、雷雨予報のため雨天プログラムであるフェリミード歴史公園見学に行きました。昼食後グループに分かれて、カンタベリー地方の歴史を学ぶ数々の展示を見学したり、ボランティアさんのご厚意で昔のバイクや車に乗せてもらったりと、貴重な経験ができました。日常の授業ではあまり見せないような子どもたちの生き生きとした姿をたくさん見ることができました。また、2名の保護者ボランティアさんにも参加していただき、写真を撮っていただくなど活動を支えていただきました。ありがとうございました。



中学部3年生は1月20日(火)から1泊2日で卒業キャンプを行ってきました。スプリングフィールドに宿泊し、キャッスルヒルズハイキング、カヤック実習、サイクリング(雨天のため、ホールでのゲームと組み合わせての活動)、スイカ割り…と盛りだくさんの内容でしたが、この卒業キャンプの目的である、

- ① 補習校生活を振り返り、仲間とともに楽しい思い出をつくる。
- ② 集団活動や生活を通して、日本人としての規律ある態度を身につける。」
をしっかりと達成することができました。

各活動にしっかりと目的意識を持って参加する姿。食事の用意の前向きでチームワークの良い姿勢。互いのよさを認め合い男女仲良く尊重し合う姿。「さすがカンタベリー補習授業校の最高学年!」という姿が溢れています。補習校でともに学んできた仲間との絆が、さらに堅く強く深まった卒業キャンプでした。

4学期は今年度のまとめの学期です。授業日も残すところあと8日(卒業生は7日)です。教職員一同子どもたちひとりひとりを見つめ、全力でまとめの学習を進めていきますので、ご理解ご協力をよろしくお願いします。また、今週末の授業参観、中学部学習発表会にも是非足をお運びいただき、子どもたちの成長を認め、頑張りをいっぱい褒めてあげてください。

◉: 校長室より 「旅立ちの日に」プロジェクト -補習校で学んだ日々となかまを宝物に-

このプロジェクトは、卒業生、中学部1・2年生、小学部5年生、卒業生保護者、来賓、教職員全員が参加する3月21日の卒業式の中で、「旅立ちの日に」を全員合唱しましょう!というプロジェクトです。ご存じの方も多いと思いますが、「旅立ちの日に」は現在日本の多くの小学校・中学校の卒業式で歌われているため30代以下の日本人はほぼ歌える曲となっており、カラオケでも上位に位置しています。将来本校卒業生が集まったとき、また日本で同世代が集まったくなどに、みんなで歌う事ができる歌は、これから進む人生の中で根っこを確かめ自分達の足跡を共有するアイテムとして「宝物」になると思うのです。また、音楽の授業のない本校の子どもたちに、日本の学校で行われている合唱コンクールの「歌を合わせる」「心を合わせる」経験をさせたい、という願いもあります。

ただし貴重な授業時間を圧迫することがないよう練習方法を工夫し、「卒業生だけが発表する」というスタンスでは無く、会場に集う全員で歌うプロジェクトとしたいと思います。歌う際には子どもたちの思い出の写真と歌詞をプロジェクターで映し出すので、思い出とともに歌詞を見ながら歌うことになります。子どもたちは学校で少しの時間を見いだして練習をしていきますが、是非ご家庭でもご自分の歌うパートを決めて、動画等を参考にで口ずさんでみてください。

本校初の試みですが、卒業式の中で、ホールいっぱいに「旅立ちの日」の3部合唱が響き渡ることを願って。